

不動産関係判例の 収集→整理→公表について

調査研究部

はじめに

当機構の判例収集と公表の仕方について、紹介します。

1 本誌掲載判例

主に判例時報、判例タイムズ等の雑誌、裁判所のHP等から収集します。稀に弁護士や行政庁からご提供頂くこともあります。

本誌掲載時は、1号約20判例×年3回=約60です。1例約2000字です。

2 本誌掲載判例のデータベース化

本誌に累計約500掲載された判例をデータベース化しました。1例約2000字です。2008年度末にはネット化します。

3 本の刊行～その1「宅地・建物取引の判例シリーズ」

2008年3月刊の「宅地・建物取引の判例(9)平成15(2003)～17(2005)年」が最新です。1の約6割の106判例を、2000字→1000字程度に圧縮し収録(税込み1400円)しました。

4 本の刊行～その2「最新・不動産取引の判例」(2008年6月刊)

1999年～2007年に出た、広範囲の不動産取引関連の判例を収集しました。年平均80です。

1例約1000字です(税込み2100円)。

5 判例以外も含むデータベース

本誌本号の『不動産トラブル事例データベース』のインターネット配信を開始しました。判例は125、1例1000字程度です。約10年で125→年13程度です。2008年4月からネットで運用しています。

6 まとめ

判例数では、4の「最新・不動産取引の判例」が最も多く約620例が掲載されています。2・5はネット化(含む予定)で、無料閲覧が可能です。また、当機構のHPでは、本誌62号から69号に掲載された判例141例についてすでに公表しています。

3・4・5は1000字程度に圧縮して収録しています。それぞれの媒体の性質・目的の違いをご理解の上、ご参考にしていただければと思います。